

ノーリフティングケア再スタート！ ～こんなはずではなかった...からの再挑戦～



社会福祉法人 朝老園
特別養護老人ホーム 朝老園ひさみつ

まずは教育

職員にノーリフティングケアの目的と必要性の理解
委員会が継続行い理解度チェックを実施

取り組み目標！

- 1 職員の腰痛・業務負担の軽減
- 2 介助方法の振り返りと再検討
抱え上げ介護との決別✕
- 3 福祉用具活用への意識付け

委員会活動を月1回実施



こんなはずではなかった...から
今できる事をやろう！

めんどく
さい！

委員会メンバーが入れ替わりました



施設長
介護・看護職員
生活相談員
ケアマネ
で構成
再スタート！

こんなはずではなかった...

職員の退職→深刻な人員不足
シフト調整や業務を優先的にする
中で委員会活動や計画がストップして
しまった...
研修にも足が遠のいた...
いつの間にか気持ちも遠のいた...

日々のケア
で精いっぱい

再スタート

あきらめないでやってみよう！

時間が
ない！

腰痛調査

... 実際どうなの？

(6月介護職員16名に実施)

の結果...

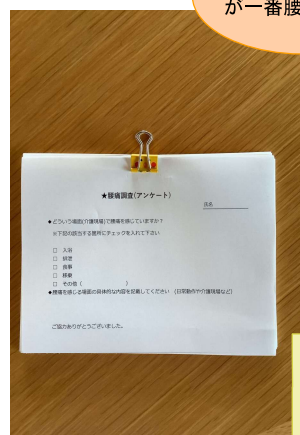
常に痛いや時々痛いがほとんど...
実際、抱え上げ介護もほとんど...



各々で体操やストレッチ、腰痛ベルト着用な
どしている...
何もしていない職員もいる

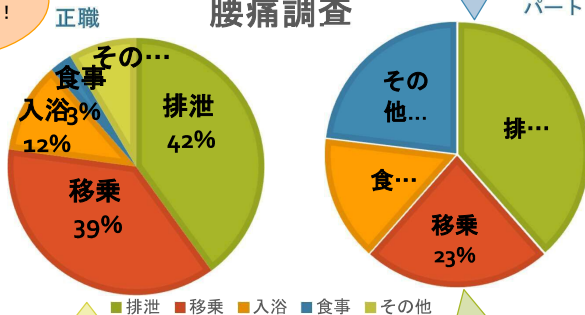
これでいいの？

腰痛調査の追跡



中腰姿勢を取る時
が一番腰が痛い！

腰痛調査



オムツ交換の
姿勢がきつい...

パート

体重の重たい方や力
を入れる方の体位交
換時が痛い！！

移乗介助の時が
痛い！！！！

腰痛調査後、 委員会にて今できることを検討



- ・ただでさえ人手不足なのに、腰痛が原因で離職者を出したくない！
- ・職員の疲労感の蓄積、腰痛者を減らしたい！
- ・入居者、職員へ安心安全な介護を届けよう！

【リスクの抽出と対策】

腰痛体操の啓発と実施

環境整備

今ある福祉用具の
使用方法を振り返り

から**スタート！！**



腰痛予防体操



以前は貼ってるだけ...
空気のような存在...



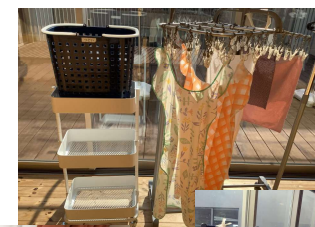
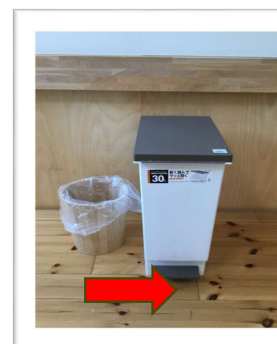
業務の合間
や休憩後に

簡単に短時間でできるよう
改善！



ミーティング
後に

環境整備（日常生活動作）



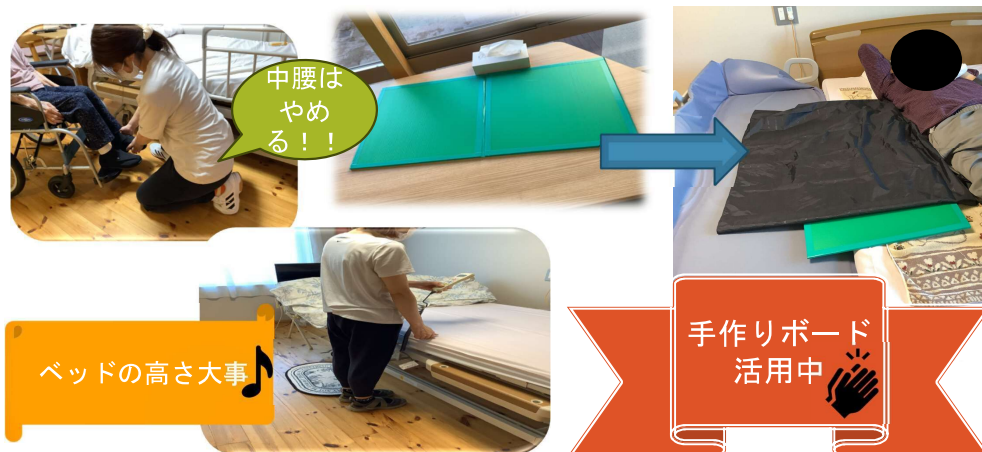
中腰姿勢をとらないように改善

気づき！

今までは介護する場面ばかり注目していたけど
働く環境にもリスクはあった



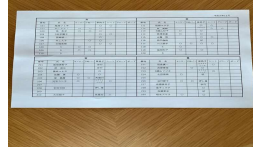
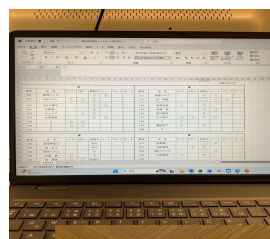
実技の確認：介助する時は不良姿勢でやってない？



福祉用具を使ってみた！



福祉用具の管理と充実



見えてきたこと！



必要数ないから使えない
車いすが古く、入居者にあっていない
道具はあるのに使っていない

介助バーの購入

自立されていた方のADLの低下...
なるべく自分の力で立ち上がりたい！
今できることのケア



職員さんに手
を取らせたく
ない

これからの取り組みと課題

ノーリフティングケアを継続していくために

- ・マニュアルの作成→統一したケアができるようになる
- ・技術研修を開催→根気強くやっていく
- ・仲間を増やしていく→誰もが指導できる環境を作る

反省点

業務が優先になる事も多く思うように技術研修が進まなかった...言い訳にしないよう委員会活動を活発化する

良かった点

地域連絡会に参加させていただいたことで施設間との情報共有や学ばせてもらった事が多かった
技術担当者：研修に参加できた
環境面での改善をした事で気づきがあった

今この状況だからこそやれる事を1歩ずつ前に進んで継続していく 楽しみながら取り組んでいく